



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

平成 30 年 1 月 12 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2018 年第 1 週

(1/1~1/7)

12 月報合併号

○ インフルエンザの患者報告数が急増しているため、県内にインフルエンザ警報が発令されました。
→トピックス

■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

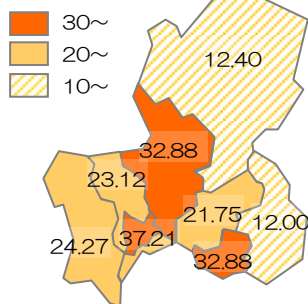
レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	インフルエンザ	定点当たり 30 人以上 (10 人を下回るまで継続)	岐阜市 (37.21)、関 (32.88)、東濃 (32.88)
注意報レベル	インフルエンザ	定点当たり 10 人以上	岐阜 (23.12)、西濃 (24.27)、可茂 (21.75)、 恵那 (12.00)、飛騨 (12.40)

※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。

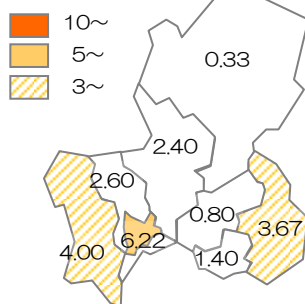
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後 4 週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

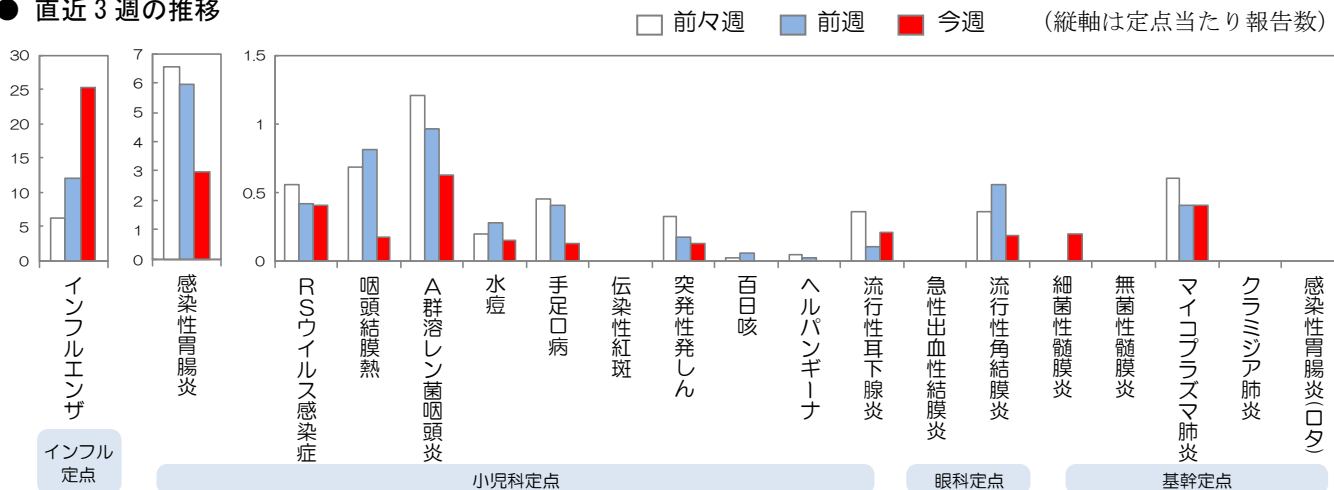
<インフルエンザ>



<感染性胃腸炎>



● 直近 3 週の推移



■ 全数把握対象疾患の発生動向

● 今週届出分

1 類感染症：なし

2 類感染症：結核 3 例

3 類感染症：なし

4 類感染症：なし

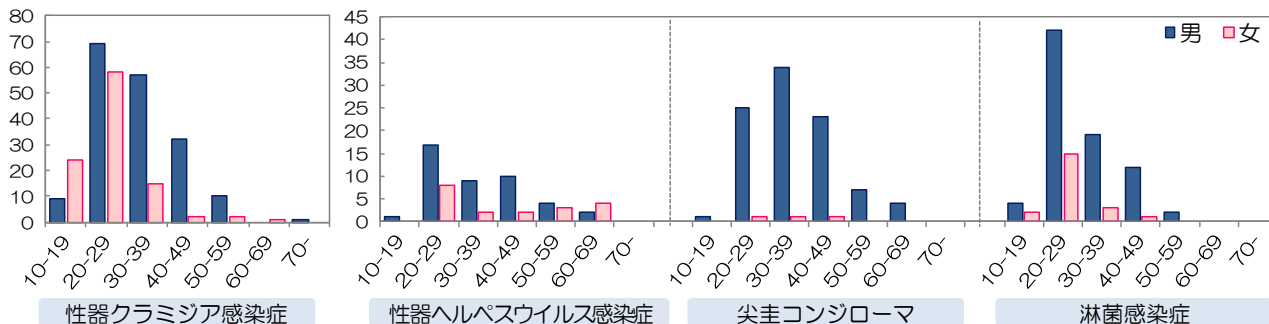
5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例

■ 月報告定点把握対象疾患の発生動向 <12月>

● 性感染症報告数 (STD定点: 15か所)

疾患名	12月	男			女		
		12月	11月	10月	12月	11月	10月
性器クラミジア感染症	35	19	19	13	16	6	8
性器ヘルペスウイルス感染症	2	2	5	4	-	4	-
尖圭コンジローマ	9	9	4	8	-	-	-
淋菌感染症	10	9	6	6	1	2	4

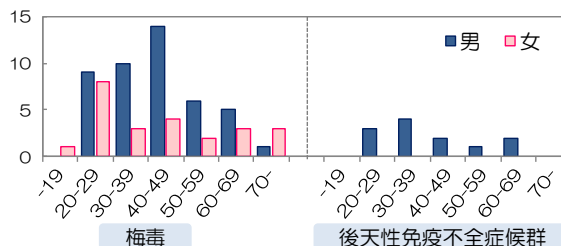
<性・年齢階級別報告数 (2017年1~12月累計) >



(参考) 全数把握対象の性感染症 報告数

疾患名	12月	11月	10月	1~12月	男	女
梅毒	5	7	6	69	45	24
後天性免疫不全症候群	-	2	-	12	12	-

性・年齢階級別報告数 (1~12月)



● 薬剤耐性菌感染症報告数 (基幹定点: 5か所)

疾患名	12月	11月	10月	9月	8月	7月
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	19	8	18	13	16
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	9	2	3	3	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	1	-	-

■ 病原体検出情報

● 医療機関から提出された検体の病原体検出状況 (12月採取分、1月7日現在結果判明分)

臨床診断名	病原体名 (遺伝子検出を含む)	検出数
インフルエンザ	インフルエンザウイルス AH1pdm09	2
	インフルエンザウイルス AH3	2
	インフルエンザウイルス B型	19
RSウイルス感染症	RSウイルス	1
無菌性髄膜炎	ライノウイルス	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	Streptococcus pyogenes T4型	3
	Streptococcus pyogenes T12型	1
感染性胃腸炎	ノロウイルス GII	1
	下痢原性大腸菌 (EAST1EC)	1
腸管出血性大腸菌感染症	Escherichia coli O157:H7 VT2	1
	Escherichia coli O115:H10 VT1	1
つつが虫病	ツツガムシ病リケッチア Kawasaki型	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	Providencia rettgeri IMP-1型 MBL産生性	1

※病原体検出情報の詳細についてはHPをご覧ください (毎週更新)。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/byougentai.html>

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。
 感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
 病原微生物検出情報 (IASR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

■ トピックス

● インフルエンザ

◇ 県内にインフルエンザ警報が発令されました

県内のインフルエンザ定点医療機関からのインフルエンザ患者の報告数は、第48週に流行入りの目安とされる定点あたり1人を超えてから週ごとに増加し、昨年末からは急激な増加がみられています。

第1週は県全体で定点あたり25.28人と前週の2倍以上に増加しています。保健所別にみると、岐阜市、関、東濃保健所管内で定点あたり30人を超える流行となっていることから、1月12日には、県内にインフルエンザ警報が発令されました。

岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスによると、第1週に報告された患者の迅速診断キットによるA・B型別の割合は、A型が45%、B型が55%となっており、シーズン初めの状況と比べるとA型の割合も増えてきています。

今後、しばらくは流行が続くと考えられますので、学校や職場、家庭内でより一層の予防に努める必要があります。

◇ 手洗いや咳エチケットの徹底を

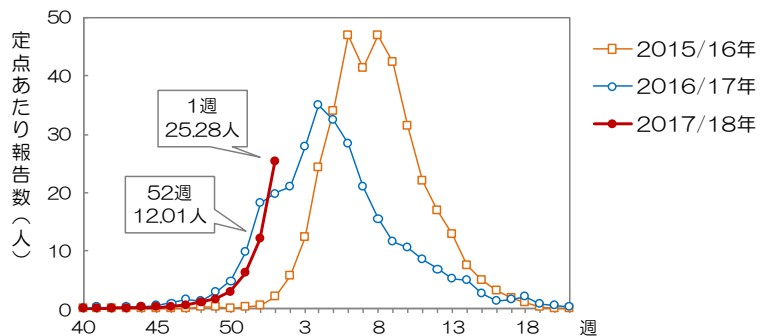
基本的な予防対策としては、外出後の手洗いを励行すること、流行期には人ごみを避けること、やむを得ず人ごみに出る場合にはマスクを着用することなどが挙げられます。

また、感染拡大を防止するためには、咳エチケットによる飛沫感染対策が重要となります。

★ ミナモのコラボポスター (→)

HPに掲載していますのでご活用ください。

インフルエンザ患者報告数（岐阜県：87定点）



保健所別 定点あたり患者報告数

	全県	保健所							
		岐阜市	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨
50週	2.98	2.86	4.18	2.20	4.38	4.75	1.63	1.14	2.10
51週	6.21	6.36	8.76	4.87	8.13	7.75	3.50	6.14	3.10
52週	12.01	17.93	16.94	11.00	11.00	9.50	9.00	7.43	5.30
1週	25.28	37.21	23.12	24.27	32.88	21.75	32.88	12.00	12.40

警報レベル（定点あたり30人以上に達してから10人を下回るまで）
 注意報レベル（定点あたり10人以上）



○ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスによる気道感染症で、典型的には、1～3日間ほどの潜伏期間の後に、38℃以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快します。高齢者や、呼吸器、循環器、腎臓の慢性疾患患者や糖尿病患者などでは、呼吸器に二次的な細菌感染症を起しやすく、また、小児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。

○ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約5,000か所（岐阜県87か所）のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。